



2019-20 年度 第 13 回 <通算 553 回>

国際ロータリー第 2530 地区 南相馬 RC

プログラム▶開会点鐘/国家斉唱「君が代」/ロータリソング「奉仕の理想」/「四つのテスト」唱和/お客様並びに来訪ロータリアン（ケリー由美絵様、原町中央 RC 松永雄一会員）会長の時間/10 月の誕生祝福/ゲスト卓話/幹事報告/各委員会報告/出席報告/スマイルボックス報告/閉会点鐘/

会長の時間 岡田 義則



【ラグビーから学ぶこと】

ラグビーには全く興味のない私ですが、先日たまたま日本対アイルランド戦を見ました。その試合を見てとても感動し心打たれてしまいました。

ラグビーワールドカップのチームは 31 人で構成され、試合に出場するのは 15 人だそうです。選ばれし精鋭としてピッチに立つ 15 人は、リザーブメンバーだけでなくすべてのラグーマンの思いを胸に秘めてピッチに立つ。出場できなかったメンバーたちへのリスペクトが、揺るぎない敢闘精神の源になっています。私はこのメンバー構成など当クラブになんとなく似ているところがあると思ひ、知らず知らずのうちにラグビーとロータリーを重ねてその魅力に迫っています。

ラグビーの精神として「One for all, all for one」があります。「ひとりみんなのために、みんな一つのこのために」という意味で使われるこのフレーズが、ラグビーで使われるのはなぜでしょう？
「一人ひとりが個性を生かして、勝利を目指すから」
「スクラムを組んだりしたら、心がひとつになるから」
「みんなの力を合わせれば、勝利をつかめるから」だと私は思います。
やはりどこかロータリークラブにも通ずるものがあります。
試合終了後に選手たちが抱き合う姿や、ピッチに流れる温かな空気は他のスポーツでは見られない光景であります。

また、他のスポーツといえば、試合が終わることをタイムアップとかゲームセットと言いますが、ラグビーはノーサイドと言います。それは『サイドが無くなる』ということらしく、つまり、敵も味方もなくお互いを讃え合うという意味だそうです。

2019 年を生きる子どもたちが今後ラグビーに触れ合い、興味の輪が広がっていけば、ラグビーワールドカップ終了後も関心を抱いていくと思います。ラグビーが文化のひとつとして、人々の生活に浸透していく。ラグビーを通して、人間として大切なものを学んでいく。それこそが、ラグビーワールドカップが開催されるレガシーなんだと思います。と同時に、彼らが職業人となった時、ロータリーをわかってもらえる日か来るかもしれません。

【会長のウンチク】

サラダには欠かせないレタスですが、切ったレタスを冷水で冷やすというのは間違いで、水の中にレタスの栄養素も溶け出てしまいます。必要な枚数だけレタスを株本からちぎって洗い、冷蔵庫でギリギリまで冷やし、食べる直前に手でちぎって食べると食感がまるで違います。

またレタスを切ると白く濁った液体が出るのをご存知でしょうか。この液体にはラクッコピコリンという眠気を誘う成分が含まれているため、レタスを食べることで安眠効果を得られると言われているのです。眠れずに悩んでいる人は、寝る前にレタスを食べてみてはいかがでしょうか？

ゲスト卓話 「国際化し続ける南相馬市での南相馬市国際交流協会の役割」

南相馬市国際交流協会 事務局長 ケリー由美絵 氏

当協会は、小高町国際交流協会、原町市国際交流協会、鹿島町国際交流協会が合併し、2006年に南相馬市国際交流協会としての活動を開始しました。現在、個人147、団体48の会員に所属していただいております。基本方針は、事業による地域の活性化、多文化共生を意識した国際交流、在住外国人・訪問外国人支援、目を世界に向けた国際理解の4つであり、これらを地域団体・市民と連携して行っております。



具体的な活動内容ですが、主要なものとなっているのがアメリカ・オレゴン州ペンデルトン市との姉妹都市総合派遣交流事業です。お互いに100名以上を派遣し合い交流を深めて参りました。国際舞台で活躍している方が数多くいらっしゃいます。東日本大震災で当市が被災した際には、2006年のペンデルトン市派遣生だったKate O Bergさんがいち早く募金活動をして救援物資を送ってくれ、その後、あの過酷な状況の南相馬に単身乗り込み、食料配布のボランティアをコーディネートする一方、外国語指導補助として市内の学校で子供たちの教育を支援するなど大活躍をしてくれたこともありました。このように姉妹都市派遣交流事業は確実に実を結んでおります。

その他の活動では、市民の国際理解を深める目的で海外から南相馬に移住された方に出身国のお話して頂く機会を設けたり、在住外国人が南相馬市で暮らしやすくなるお手伝いとして「日本語教室」を開催したりと、基本方針である「多文化共生」を目指すための活動を、協かい発足以来継続して行っております。

総務省は、2006年に「地域における多文化共生推進プラン」を発表し、それには「国籍や民族などの異なる人々が、お互いの文化的差異を認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成として共に生きていく」と書かれています。今年の2月に全国市町村国際文化研究所で行われた「多文化共生の地域づくりコース」に参加しました。そこで多文化共生促進プランの策定にも参加された講師の田村太郎さんがおっしゃった言葉で、「多文化共生の施策ができない自治体は滅びる。」というものでした。もちろん、文字通り「滅びる」というわけではなく、「少子化をたどる一方の日本では、外国人の助けを借りて行かないと地域社会の活動が立ちいかなくなる、そして外国人に助けをもらうには、彼らの住みやすい環境を整えていかないとならない」という意味でした。

南相馬市では、2013年12月現在では171人でしたが、2018年には435人と5年間で2.5倍以上となっています。国全体としてはこの5年間の伸び率が約1.17倍ですので、近年の南相馬市の国際化がどれほど急速にすすんでいるか、この数字だけでお分かりいただけると思います。

外国人にも住みやすい環境の整備として、南相馬市は外国人材活用に向けた体制整備を今年度から本格化させ、最近では地元企業を支援する目的で、技能実習生を対象とした日本語教室を開催するなどの取り組みを始めました。しかし、市として配布しているものには「多言語」や「やさしい日本語」で対応しているものが不足している在住外国人が情報弱者のままである点など、課題は少ないように思われます。当協会としても、これからは「地域における多文化共生」に重点を置いた活動をこの国際蚊の進む南相馬で活性化させていくことが重要だと思います。

日本語学習補助の活動に関心を持ち、携わっていただける人材を育てるため、来月には「日本語ボランティア養成講座」をスタートすることになりました。このような活動は、外国人をサポートするというだけではなく、日本人市民にもこれまでは遠くに感じていた国々の人々が今は同じ地域で暮らし社会を共に構成する仲間であるという意識を高めてもらうことにもつながります。

私たち当協会の亜季院一人一人がこのような活動を率先して行う「多文化共生リーダー」となることで、異文化の理解不足から生じてしまう地域の軋轢が回避され、誰にとっても暮らしやすい南相馬にしていくことが可能になると思います。



南相馬 RC の皆様にも、皆様がお持ちの地域に根付いたネットワークで我々の活動を広めて頂くなど、一層のご協力をお願いします。

幹事報告

- 1、10月のロータリーレートは¥108-です。
- 2、ガバナー事務所より「地区研修・協議会記録」が届いています。
- 3、10月6日(日)2530地区「規則・手続委員会セミナー」に青田幹事が出席しました。
- 4、10月5日(土)福島民友社の新聞に青葉幼稚園ブックスタンド贈呈記事が掲載されました。

各委員会報告

- 1、社会奉仕委員長佐久間会員より9月ゴミ資源回収会計報告がありました。

<<今週のご寄付 2019年10月8日>>

■ロータリー財団 計 8,000./累計 ¥92,000.

■米山奨学会 計 6,000./累計 ¥80,000.

■スマイルボックス報告

出席報告: 会員数 29 名 出席数 16 名 出席率 55%

氏名	Smile	コメント
青木謙二	1,000	松永会員メーキャップありがとうございます。ケラー由美絵さん卓話ありがとうございます。
青田真	1,000	ケラー由美絵様卓話ありがとうございます。
大谷和年	1,000	ケラー由美絵さん卓話ありがとうございます。
岡田義則	1,000	松永様、ケラー様、ご参加ありがとうございます。
小澤積	1,000	ケラー由美絵さん卓話ありがとうございます。
川崎博祐	2,000	ケラー由美絵さん卓話ありがとうございます。
野地庄蔵	1,000	ケラー先生、ありがとうございます。
三浦宏美	1,000	ケラー由美絵様卓話ありがとうございます。
門馬純子	1,000	ケラー由美絵様、卓話ありがとうございます。松永雄一様、メーキャップありがとうございます。
松永雄一	1,000	(原町中央 RC) 南相馬 RC に初めて MU させていただきます。
合計(¥)	13,000	(累計¥221,000)

来訪ロータリアン



南相馬 RC さんへ来訪するのは、ガバナー補佐以来です。以前は、例会の曜日が同じでしたので、メーキャップができませんでした。原町中央 RC へもぜひご来訪下さい。



会長からメッセージカードとプレゼントが贈られました。

左: 佐久間 会員

右: 門馬 会員

南相馬ロータリークラブ

2019-20 年度 会長: 岡田 義則 / 幹事: 青田 真

例会日: 毎火曜日 12:30~13:30

例会場: ウェディングパーク 原町フローラ 南相馬市原町区高見町 2 丁目 30-6

事務局: 南相馬市原町区錦町 2 丁目 68-6 TEL 0244-23-1268 FAX 0244-26-5935

HP <http://www.minamisoma-rc.org/> E-mail minamisomarc@white.plala.or.jp



Since.2007